

## 第9回日本血栓止血学会学術標準化委員会(SSC)シンポジウム SSC Symposium 2015

日 程	2015年2月28日(土)9:30～17:00 ※9:00より受付を開始いたします。
会 場	野村コンファレンスプラザ日本橋 (東京都中央区日本橋室町2-4-3 日本橋室町野村ビル6F, 東京メトロ銀座線・半蔵門線「三越前」駅A9出口直結 徒歩1分) <a href="http://www.nomura-nihonbashi.com/conference/">http://www.nomura-nihonbashi.com/conference/</a>
世話人	羽藤高明(愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部)
参加費	会 員 3000円(抄録代を含む) 非会員 4000円(抄録代を含む)

### プログラム

学術標準化委員会シンポジウム  
午前の部(10:30～13:00)

#### 1. 血友病部会

テーマ「長時間作用型凝固因子製剤をどう使うか？」

##### 第1部 情報共有

座長：天野景裕(東京医科大学 臨床検査医学分野)

##### 1-1. 各メーカーからの情報提供

内容：①長時間作用型凝固因子製剤のコンセプト

②PK データ

③安全性

④モニタリングについて

##### 1-2. 長時間作用型第VIII因子、第IX因子のモニタリングの問題点について

福武勝幸(東京医科大学 臨床検査医学分野)

##### 1-3. 長時間作用型製剤時代の定期補充療法への期待と問題点

小児科の立場から 長江千愛(聖マリアンナ医科大学 小児科)

内科の立場から 徳川多津子(兵庫医科大学 血液内科)

##### 第2部 パネルディスカッション：長時間作用型凝固因子製剤をどう使うか？

座長：瀧 正志(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 小児科)

嶋 緑倫(奈良県立医科大学 小児科)

パネラー：福武勝幸(東京医科大学 臨床検査医学分野)

長江千愛(聖マリアンナ医科大学 小児科)

徳川多津子(兵庫医科大学 血液内科)

(2)

藤井輝久(広島大学 輸血部)  
花房秀次(荻窪病院 血液科)  
岡 敏明(札幌徳洲会病院 小児科)

## 2. 血小板部会

テーマ「抗血小板薬の分子標的とそのリスクベネフィット」

### 第1部

座長：羽藤高明(愛媛大学 輸血・細胞治療部)  
野村昌作(関西医科大学 第一内科)

#### 1. オーバービュー

堀内久徳(東北大学 加齢医学研究所)

#### 2. cyclo-oxygenase 阻害薬

松原由美子(慶應義塾大学 発生・分化生物学)

#### 3. P2Y<sub>12</sub> 阻害薬

西川政勝(三重大学 臨床研究開発センター)

### 第2部

座長：尾崎由基男(山梨大学 臨床検査医学)  
矢富 裕(東京大学 臨床病態検査医学)

#### 4. PDE3 阻害薬

山之内純(愛媛大学 血液・免疫・感染症内科)  
佐藤金夫(山梨大学医学部附属病院 検査部)

#### 5. GPIIb-IIIa 阻害薬

富山佳昭(大阪大学 輸血部)

#### 6. PAR-1 阻害薬

山崎昌子(東京女子医科大学 神経内科)  
田村典子(東海大学 循環器内科)  
清水美衣(名城大学 環境科学)

## 3. 血栓溶解部会

テーマ「線溶系の新展開」

座長：岡田清孝(近畿大学医学部 再生機能医学)  
山本晃士(名古屋大学医学部附属病院 輸血部)

#### 1. 高感度 PAI-1 活性測定法の開発

岩城孝行<sup>1)</sup>, 浦野哲盟<sup>2)</sup>, 梅村和夫<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>浜松医科大学 薬理学講座, <sup>2)</sup>浜松医科大学 医生理学講座

#### 2. ストレス関連疾患としての血栓症と PAI-1

竹下享典(名古屋大学医学部附属病院 検査部)

#### 3. 血栓溶解療法の up to date

長尾毅彦(東京女子医科大学 神経内科)

4. 自己免疫性出血病 XIII/13 (Autoimmune Hemorrhaphilia XIII/13; AHXIII/13) の診断基準について  
一瀬白帝(山形大学医学部 分子病態学)
5. 外科領域の止血不全における線溶亢進と第 XIII 因子の重要性  
山本晃士(名古屋大学医学部附属病院 輸血部)

#### 4. 血栓性素因部会・静脈血栓症／肺塞栓症部会(共同開催)

テーマ「静脈血栓塞栓症の危険因子－先天性血栓性素因と後天性要因－」

座長：池田正孝(大阪医療センター)

津田博子(中村学園大学 栄養科学研究科)

##### 1. 教育講演

先天性血栓性素因の診断

小嶋哲人(名古屋大学大学院医学系研究科)

##### 2. 三重大学における先天性血栓性素因の遺伝子診断

池尻 誠(三重大学医学部附属病院 中央検査部)

和田英夫(三重大学大学院医学系研究科 検査医学分野)

##### 3. (追加発言)当研究室で解析した先天性アンチトロンビン・プロテイン C・

プロテイン S 欠損症の遺伝子診断ならびに臨床所見

谷口文苗(金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻 病態検査学)

森下英理子(金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻 病態検査学,

金沢大学附属病院 血液内科)

##### 4. 周産期母体深部静脈血栓症発症におけるプロテイン S - プロテイン C 凝固制御系の重要性

杉村 基(浜松医科大学 産婦人科家庭医療学講座)

##### 5. わが国の静脈血栓塞栓症の発症率とリスク因子 ～最近の疫学調査から～

中村真潮(三重大学大学院 循環器・腎臓内科学／村瀬病院 肺塞栓・静脈血栓センター)

##### 6. 総合討論

午後の部(14:10～16:40)

#### 5. DIC 部会

テーマ「新 DIC 診断基準と実際の臨床」

座長：川杉和夫(帝京大学医学部 内科)

朝倉英策(金沢大学附属病院 高密度無菌治療部)

##### 1. 急性期 DIC 基準の中で、外傷性 DIC に最も関与している因子は何か？

～ thromboelastometry を用いた後ろ向き検討～

小網博之, 阪本雄一郎(佐賀大学医学部附属病院 救命救急センター)

##### 2. 敗血症性 DIC の診断と病勢の評価：凝固・線溶系マーカーの有用性と

幼弱血小板比率(IPF)からみた血小板数の位置付け

小山寛介<sup>1)</sup>, 窓岩清治<sup>2,3)</sup>, 室野井智博<sup>1)</sup>, 鯉沼俊貴<sup>1)</sup>, 和田政彦<sup>1)</sup>, 大森 司<sup>3)</sup>, 布宮 伸<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>自治医科大学 集中治療部, <sup>2)</sup>東京都済生会中央病院 臨床検査医学科,

<sup>3)</sup>自治医科大学 分子病態研究部

(4)

3. DPC データからみた DIC 治療とアウトカムの現状

村田 篤彦<sup>1)</sup>, 岡本好司<sup>2)</sup>, 真弓俊彦<sup>3)</sup>, 松田晋哉<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>産業医科大学 公衆衛生学, <sup>2)</sup>北九州市立八幡病院 消化器・肝臓病センター,

<sup>3)</sup>産業医科大学 救急医学

4. 新 DIC 診断基準は臨床現場の要望にどれだけ添っているのか? - Pre validate 段階での考案 -

関 義信(新潟県立新発田病院 内科)

座長: 窓岩清治(東京都済生会中央病院 臨床検査医学科, 自治医科大学 分子病態研究部)

岡本好司(北九州市立八幡病院 消化器・肝臓病センター)

5. 内科領域における新 DIC 診断基準項目の後方視的検討

内山俊正(高崎総合医療センター 臨床検査科)

6. DIC 診断基準暫定案と旧厚生省診断基準の診断率の比較検討 - 単施設での後方視的研究 -

池添隆之(高知大学医学部 血液・呼吸器内科)

7. DIC 診断基準暫定案に内在する構造的課題点

内場光浩(熊本大学医学部附属病院 輸血細胞治療部)

8. 日本血栓止血学会 DIC 診断基準暫定案の検討

青田卓実, 和田英夫, 松本剛史, 山下芳樹, 片山直之

(三重大学医学部 血液腫瘍内科 / 検査医学 / 輸血部)

6. VWD/TTP 部会

テーマ「VWD/TTP の診断と治療の進歩」

第1部 VWD

座長: 西野正人(奈良県西和医療センター)

1-1. 循環器疾患に合併する後天性 VWD の解析

堀内久徳(東北大学加齢医学研究所基礎加齢研究分野)

1-2. 血流下血栓形成測定装置による VWD の機能的診断と治療モニタリング - 奈良医大の経験から

野上恵嗣(奈良県立医科大学 小児科)

1-3. VWD 診療ガイドラインの作成状況

日笠 聡(兵庫医科大学 血液内科)

松下 正(名古屋大学 輸血部・検査部)

第2部 TTP

座長: 西尾健治(奈良県立医科大学 総合医療学)

2-1. 先天性 TTP(USS)の分子診断

小亀 浩市(国立循環器病研究センター 分子病態部)

2-2. TTP の診断基準について

松本雅則, 藤村吉博(奈良県立医科大学 輸血部)

2-3. 再発・難治性 TTP に対するリツキシマブの医師主導治験

宮川義隆(埼玉医科大学医学部 総合診療内科・血液内科)

## 7. 抗リン脂質抗体部会

テーマ「抗リン脂質抗体症候群：測定法の標準化から診断法の標準化へ」

### 1. 基調講演

座長：野島順三(山口大学)

抗リン脂質抗体のグローバル標準化

渥美達也(北海道大学大学院医学研究科 免疫代謝内科学分野)

### 2. 抗リン脂質抗体症候群：測定法および診断法の標準化に向けて

座長：森下英理子(金沢大学)

#### 2-1. LA 部門：

希釈ラッセル蛇毒時間(dRVVT)測定 of 健常人参考値の設定

山崎 哲<sup>1)</sup>， 静 怜子<sup>2)</sup>， 内藤澄悦<sup>3)</sup>， 鈴木典子<sup>1)</sup>， 家子正裕<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup> 聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査部， <sup>2)</sup> 群馬大学医学部附属病院 臨床検査部，

<sup>3)</sup> 北海道医療大学 臨床検査部， <sup>4)</sup> 北海道医療大学歯学部 内科学分野

#### 2-2. ELISA 部門：

日本における抗リン脂質抗体 ELISA の標準化に向けて

本木由香里， 野島順三(山口大学大学院医学系研究科保健学専攻 生体情報検査学領域)

#### 2-3. APS 部門：

膠原病における血栓発症マーカー：抗リン脂質抗体スコアと Global Anti-Phospholipid Syndrome Score (GAPSS) の比較

奥 健志(北海道大学大学院医学研究科 免疫代謝内科学分野)

### 3. 総合討論

座長：家子正裕(北海道医療大学)

## 8. 凝固系 / 抗凝固療法部会・凝固線溶検査部会(共同開催)

テーマ「最適な抗凝固療法 / モニター法と希少出血性疾患」

座長：北島 勲(富山大学大学院医学薬学研究部 臨床分子病態検査学講座)

和田英夫(三重大学大学院医学系研究科 臨床検査医学)

### 1. 抗凝固療法

#### 1-1. 虚血性脳卒中急性期および再発予防のための抗凝固療法

Anticoagulation for acute ischemic stroke and reduction of recurrent stroke

岡田 靖， 矢坂正弘， 阪田敏行\*， 中村麻子， 三間洋平， 桑城貴弘， 湧川佳幸

(国立病院機構九州医療センター臨床研究センター 脳血管・神経内科，

アイ・エル・ジャパン株式会社\*)

#### 1-2. 急性肺血栓塞栓症に対する抗凝固療法の変遷と展望

山田典一(三重大学大学院 循環器・腎臓内科学)

#### 1-3. エドキサバンの今までの足跡

藤田 悟， 金平盛子(宝塚第一病院 整形外科)

(6)

2. 凝固系モニター

2-1. 経口トロンビン阻害薬, Xa 阻害薬のモニタリング

松野一彦, 宇佐美貴之, 畑瀬正尚, 清水 力, 佐久間一郎  
(北海道大学病院 検査・輸血部, 北光記念クリニック)

2-2. Dabigatran, Rivaroxaban, Apixaban の血中濃度と PT, APTT に及ぼす影響

川杉和夫(帝京大学医学部 内科学講座)

3. FXIII

自己免疫性出血病 XIII/13 の治療について(仮題)

一瀬白帝(山形大学医学部分子病態学講座, 厚労科研難治性疾患「出血性後天性凝固異常症」  
研究班)

モーニングセミナー(9:30 ~ 10:20)

1. 「血友病患者における関節内出血と関節症」

座長: 鈴木隆史(東京医科大学病院 臨床検査医学科)

演者: 竹谷英之(東京大学医科学研究所附属病院 関節外科)

共催: バクスター株式会社

2. 「新規経口抗凝固薬(NOAC)と凝固検査」

座長: 松野一彦(北海道大学)

演者: 家子正裕(北海道医療大学)

共催: 積水メディカル株式会社

ランチオンセミナー(13:10 ~ 14:00)

1. 「成人血友病患者の止血管理とターゲットジョイントからの脱却  
～定期補充療法と滑膜切除術～」

座長: 藤井輝久(広島大学病院 輸血部)

演者: 羽藤高明(愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部)

共催: バイエル薬品株式会社

2. 「特発性血小板減少性紫斑病(ITP)の治療と TPO 受容体作動薬に関する最新の話題」

座長: 富山佳昭(大阪大学医学部附属病院 輸血部)

演者: 白杉由香理(東海大学医学部内科学系 血液腫瘍内科学)

共催: グラクソ・スミスクライン株式会社

3. 「抗凝固薬三つのミステリー: 大出血・抗血小板薬・腎機能」

座長: 川杉和夫(帝京大学医学部 内科学講座)

演者: 山下武志(心臓血管研究所)

共催: ブリストル・マイヤーズ株式会社

イブニングセミナー

15：10～16：00

1. 「聖マリアンナ医大における定期補充療法の現状と今後の展望」

座長：藤井輝久(広島大学病院 輸血部)

講師：長江千愛(聖マリアンナ医科大学 小児科)

共催：バイオジェン・アイデック・ジャパン株式会社

16：10～17：00

2. 「インテグリン  $\alpha$ IIb $\beta$ 3 欠損 / 異常症とその治療」

座長：小林正夫(広島大学大学院医歯薬保健学研究院 小児科学)

演者：柏木浩和(大阪大学大学院医学系研究科内科系臨床医学専攻血液・腫瘍内科学)

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社